



広報誌「絆」の発刊により、消防団と地域の距離がさらに縮まった



島根県安来市消防団安来方面隊赤江分団
遠藤 彰一

1 はじめに

みなさんは安来市をご存知ですか。安来市は島根県の東部、鳥取県との県境に位置しています。ユニークな踊り「どじょう掬い」で有名な民謡「安来節（やすぎぶし）」の発祥地です。「安来節」は全国で有名なのですが、島根県はどこにあるのか知られていないことが有名なのです。

安来市は、平成16年10月に安来市、伯太町、広瀬町の一市二町が合併、消防団も一つとなり現在698名の団員が活動しています。

赤江分団（団員59名）が配置されている赤江地区は、安来市の北部、中海に面した平坦な場所で、中央を一級河川が流れているため、近年各地で発生しているゲリラ豪雨が起ると洪水の恐れがあり、水防の備えが必要な地帯です。

2 発刊のきっかけ

平成20年7月から広報誌『絆』を発刊し、10年目を迎えました。不定期で発刊していますが、年間3～6回、消防団の行事があると出来るだけ速やかに広報誌を作成し、自治会に依頼し地域の方々に回覧・配布しています。

発刊のきっかけは、消防団の活動内容を知って欲しかったからでした。

毎年、春になると操法大会に向けた練習を行っているのですが、「消防団が何かの練習をしている。」としか思われていなかったのです。

消防操法は、その動作の中に消火活動に必要な基本を凝縮し、確実に素早く動くことを競い合います。この消防操法に沿って

活動すれば、火災現場で慌てることなどないのですが、これを習得するのが大変なのです。

地域の安全のための訓練を頑張っているのに、その苦勞があまり知られていなかったことはやはりショックでした。

「消防活動をみんなに知ってもらうために広報誌を作成しよう。」と当時の分団幹部に提案、『絆』と題した広報誌を作成し、配布しました。

3 平素の活動を紹介

消防団は、火災における消火活動はもとより、台風、豪雨、地震などの自然災害から地域住民の生命、身体、財産を守ることを使命とし、日頃から機材・器具の点検やいろいろな災害に備えた訓練を受け、災害に対応できる準備を行っています。

広報誌には、まず平素の活動を掲載、消防操法大会の結果や水防訓練、実践訓練の様子や出初式、春と秋の火災予防運動期間のパトロールなど写真をまじえ地域のみなさんに活動を紹介しました。



広報誌「絆」



機械器具点検（消防出初式）

また、団員のことを知ってもらうため、幹部や団員の紹介を行いました。

4 防災に関する情報を提供

消防団員は様々な訓練を受けることで、警報器の知識を習得します。そのなかには地域の方々にもぜひ知っていて欲しいことがあります。それらを広報誌の記事に加え、災害防止の内容を充実させました。

具体的には、法改正によって住居用火災警報器設置義務化された情報、地区内および近隣の緊急避難場所の掲載、ハザードマップに表示されている地区内危険箇所と心配される災害の表示、市内での建物火災発生件数とその原因、AEDを活用した救急救命措置の重要性など地域の方々へ意識してもらうため掲載しました。すると、救急救命講習を行う自治会や広報誌の内容について団員に聞かれることが増えてきました。

また、地区の文化祭には消防積載車を駐車場に展示し、子どもたちに消防資機材を見たり触ったりする機会をつくりました。

さらに、台風により豪雨が心配される際には団員が手分けをして一人暮らし宅へ出向き、避難場所へ移動するかどうか意向確認の声掛けも行っています。

消防団と地域の距離が本当に近くなり、地域を挙げての防災活動ができる環境になったと実感しています。



団員教育（普通救命講習）

5 消防団員の教育にも

この広報誌は地域の方々への啓蒙活動のほかに、団員の教育にも役立てるようにしています。

団員のほとんどが地元や近隣に勤務しているため、仕事の都合で活動できない場合もあります。訓練のなかで教わった内容を記事にすることで、消防団員として常に意識し、有事の際に自分は何をすべきかを考えさせるようにしています。

消防団員として地域を守るためには、まずは自分の命を守る「自助」ということが重要です。自分が生きていれば、一人でも二人でも救助を求めている方を助けることができます。ケガをすれば、救助するどころか救助される側になってしまい、地域の方を助ける人員が減ってしまいます。

よって、安全に活動することを団員にも共通して啓蒙しているのです。

6 おわりに

消防団活動は地域との連携が不可欠であり、この広報誌は重要な位置を占めています。安来市消防本部からも統計データ等の提供をいただき、記事の内容も充実することができました。

これからも地域と連携し、みんなが安全に安心して暮らせるまちになるよう努めていきます。